

クイーン倶楽部だより 3月号

2013年

第123号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟

新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



広がる米粉の「輪」! 米粉で 麺をつくる 株式会社 小国製麺 を紹介しします!



全国で今、米粉を使った新しい商品作りが盛んに行われています。新潟県でも特産品の米をご飯として食べるだけではなく、いろいろな形に変えて消費をアップさせようという取組みが行われています。

新潟県胎内市にある株式会社小国製麺も、米粉を使った製品の開発を行っている企業の一つです。

米粉を混ぜたうどんは、小麦を使った麺とは違う、もちもちの食感が特長。焼うどん、鍋焼きうどんなど、小麦麺と同じように調理できます。

ご飯や米粉を使った商品を食べ、食料自給率向上に貢献しましょう!



右から小国製麺の足立さん、常務の齊藤さん

● 株式会社小国製麺HP <http://www.oguniseimen.com>

未曾有の大惨事となった東日本大震災からまもなく2年。
2年前テレビの中継で見た、まるで映画のシーンのような津波の映像は今も忘れることができません。
未だ復興の途中にある被災地の皆さまに、改めてお見舞い申し上げますと共に、1日も早い完全な復興を心よりお祈り申し上げます。

私はびつくり仰天です。一週間前に来て、記憶しているのは医院の数メートル手前だけです。その時、スマホに頼っていると危険というのが如実に解りました。便利は人間を馬鹿にする、と覚りました。最近タクシー運転手でナビ頼みの方がいます。電化生活、コンビニが台所、たまのドライヴはナビ任せでは脳を廻す場面がありません。スマホが私の頭脳と言う方に待っているのは「若年性認知症」です。これから若年性認知症が増えてゆきます。認知症患者預かり施設は将来有望産業です。

中村先生最新著書
やっぱり日本人は米だ!!
- Dr.中村お米を語る -
好評発売中!

ガラケーとスマホといえば怪獣映画のこいかいと高齢者の方は思われるでしょうが、携帯電話のことです。ガラケーは従来の電話中心の携帯電話です。スマホは色んな遊び機能があり、指で操作できる優れ物ですが、すぐに電池が切れ、電源、電源とがなりたてる欠点があります。スマホは高齢者に害という好例に遭遇しました。新しく医院開業された先生に招待され、友人二人で訪ねることになりました。友人はスマホ愛好家ですから改札をでると魔法の箱を取り出しぐるぐる回ります。画面に交番が目につきましたので、付近を眺めても交番が見当たりません。彼は付近を眺めることは一切せず画面だけを眺めています。そして、こつと誘います。駅広場の交番が見えましたが、彼には関係ありません。画面誘導の下に歩くのみです。五分ぐらいうると、急に画面を見ず「この先を右に曲がります。前に来ましたので覚えていきます」といってはいませんか。

ドクター中村の 健康徒然記 その25

スマホ、高齢者、有望産業



中村 信也(なかむらのぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医学薬膳研究の第一人者」として活躍中。